

名古屋市スポーツ戦略(案)に対する  
市民意見の内容及び市の考え方

令和3年8月

名古屋市

## 目 次

名古屋市スポーツ戦略（案）に対する市民意見の概要 .....	1
名古屋市スポーツ戦略（案）に対する主な市民意見の内容及び市の考え方.....	2
戦略1 地域スポーツ振興戦略.....	2
戦略2 スポーツを活かした都市活性化戦略.....	3
戦略3 アスリート・指導者等育成戦略.....	3
戦略4 市民にやさしいスポーツ環境整備戦略.....	4
戦略5 情報発信戦略.....	5
その他.....	6

## 名古屋市スポーツ戦略（案）に対する 市民意見の概要

「名古屋市スポーツ戦略（案）」に対し、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。いただいたご意見と、それに対する市の考え方を公表します。

なお、ご意見の内容は、一部要約または分割して掲載しましたのでご了承ください。

### 1 意見募集期間

令和3年6月1日（火）から令和3年6月30日（水）

### 2 意見提出状況

提出方法	電子メール	郵送	ファックス	合 計
提出者数	9名	0名	0名	9名
件 数	28件	0件	0件	28件

### 3 意見の内訳

項 目	意見数
戦略1 地域スポーツ振興戦略	6件
戦略2 スポーツを活かした都市活性化戦略	4件
戦略3 アスリート・指導者等育成戦略	1件
戦略4 市民にやさしいスポーツ環境整備戦略	11件
戦略5 情報発信戦略	1件
その他	5件
合 計	28件

## 名古屋市スポーツ戦略（案）に対する 主な市民意見の内容及び市の考え方

### ●戦略1 地域スポーツ振興戦略について（6件）

#### 【市民意見の概要】

- ・大規模大会のような商業的なものではなく、市民の日常的なスポーツの振興に重きを置いてほしい。
- ・子どもが、様々なスポーツに接して挑戦できる環境を作ってほしい。
- ・ボランティア指導スタッフの数を増やしてほしい。また、過去に選手経験のある人や資格等所持者で協力したい人がいると思う。
- ・スポーツボランティアの活動の向上について、より多く盛り込んで欲しい。
- ・スポーツボランティアの支援を期待する。
- ・アーバンスポーツの振興のため、環境の整備を願う。

#### 【市の考え方】

市民のスポーツの振興については、毎年秋に、「スポーティブ・ライフ月間」として、市内の各スポーツ施設等でイベントを実施しております。他にも、毎年夏を中心に、小学生からマスターズの方まで幅広い世代が参加できる「市民スポーツ祭」を実施し、スポーツの振興に努めています。

ボランティアについては、地域の子どもたちを地域の大人が指導する地域ジュニアスポーツクラブをはじめとした地域スポーツの振興を図るため、スポーツを「安全に、正しく、楽しく」指導し、スポーツの楽しさ、素晴らしさを伝えられる指導者の育成に向け研修会を行っています。また、現在、スポーツイベントボランティア制度を設けており、楽しみややりがいを感じていただける魅力的なイベントを開催し、今後も市内におけるスポーツイベントにおいて活動いただけるよう、広報などを行ってまいります。

アーバンスポーツについては、様々な機会を捉え振興してまいります。

## ●戦略2 スポーツを活かした都市活性化戦略について（4件）

### 【市民意見の概要】

- ・業者と協業して、無料のスポーツ体験教室を開催し、更に上達の希望者は業者の有料コースに引き継ぐ仕組みがあると良いのではないかと。
- ・トップスポーツチームのスポーツを「みるスポーツ」として楽しんでいる人に、他の競技を見るきっかけを提供したり、その競技を自分もやってみようとか、運営する側に回ってみようという行動を誘発するきっかけを提供したりして欲しい。名古屋にある各スポーツチームを一つにまとめ、情報発信することはできる範囲で積極的にやっていくべき施策だと思う。
- ・でらスポ名古屋に競輪チームの加盟を検討してほしい。
- ・大規模大会等のイベントは、一部の選手のものであり、一般市民のものではない。また、ビジネスにつながりやすく、スポーツの精神とは相反しうる。

### 【市の考え方】

市内に拠点を置く13のトップ・スポーツチーム等にて構成されるでらスポ名古屋が、市内の小学生を対象にトップ・スポーツチームの選手やコーチとともに、多種目を体験できる「でらスポ☆アリーナ」「でらスポ☆スタジアム」等のイベントを通して様々な種目のスポーツに興味を持ってもらう取り組みを実施しております。また、加盟チームの情報を一つにまとめ、情報発信も行っております。

加盟チームの追加については、規約上一般社団法人日本野球機構、公益社団法人日本プロサッカーリーグ、一般社団法人日本トップリーグ機構のうちいずれかに加盟していることを要件としております。

大規模大会等のイベントについては、全国的な注目を集める大規模大会やスポーツイベントを誘致・開催することで、市民が間近でトップレベルの競技を観戦し、スポーツへの関心を高められるよう努めてまいります。

## ●戦略3 アスリート・指導者等育成戦略について（1件）

### 【市民意見の概要】

- ・選手の怪我への対策として、病院や整骨院と連携し、大会で怪我をした選手へ迅速な対応ができるようにすること、怪我をしないための講習等を開催することが必要である。怪我へのサポートに関するものを戦略に加えるべきである。

### 【市の考え方】

ジュニア選手のスポーツ障害防止に向けたサポートを関係団体と連携して実施してまいります。

## ●戦略4 市民にやさしいスポーツ環境整備戦略について（6件）

### 【市民意見の概要】

- ・名古屋市内のスポーツセンターで一般市民と共用して、ノーマライゼーションの向上を図る主旨が盛り込まれているが、現実には種々の問題がある。
- ・新たな障害者スポーツセンターを建設する際は、立地を勘案した素晴らしい施設を建てて欲しい。
- ・障害者スポーツの推進について、支援者（指導者）、ボランティアの育成と活動継続ができるよう魅力ある方策を考えることはスポーツ戦略で考えて欲しい。
- ・eスポーツを第20回アジア競技大会で公式プログラムに入れるのか、早急に組織委員会で決めるべき。
- ・オリンピックなどの国際競技大会で活躍できる地元選手の発掘・育成を図ることを目的としている「あいちトップアスリートアカデミー」にeスポーツを導入してほしい。
- ・eスポーツは「生涯スポーツ」であり、「健康増進」として「認知症予防」の効果が認められていることから「脳トレーニング」としても活用されるべき。
- ・eスポーツへの理解を契機に、「スポーツは体育ではない。」という認識が改められることを期待したい。
- ・名古屋市のスポーツ戦略としてeスポーツを「スポーツ」として認めていただきたい。
- ・eスポーツを名古屋市として、スポーツ戦略に取り入れて普及強化に他の競技団体と相談しながら進めていただきたい。
- ・eスポーツは、場所や時間、年齢、障がい等に関係なく取り組むことが可能な種目であり、是非とも推進すべきと考える。
- ・現在の案では、瑞穂公園陸上競技場の改築のみで進められており、投てき練習場の確保ができないとアジア大会のみならず、今後 国際大会や全国大会の誘致は困難である。

### 【市の考え方】

障害のある方にとって、障害者スポーツセンターは気軽に利用できる施設として評価いただいている一方で、身近な地域でスポーツができる環境整備も課題となっております。市内のスポーツセンターにおいて、障害のある方の利用促進を図る上で、様々な課題も想定されますが、「障害のある人もない人も共に生きる地域社会」の実現に向け、利用者や関係団体等の意見もお聞きしながら、対応を検討してまいります。

新たな障害者スポーツセンターの整備については、立地条件をはじめ、規模、時代に即応した水準等の観点を勘案する必要があり、既存施設の課題整理、他都市の状況等の調査を行い、障害者スポーツセンターのあり方の検討を進めてまいります。

障害者スポーツを支える人材の育成については、障害者スポーツセンターにおいて障がい者スポーツ指導員養成講習会を実施しておりますが、これまで実施してきた初級に加え、令和2年度より中級も実施することにより、障害者スポーツの普及や振興を

推進する中心的な役割の人材育成にも努めております。また、今後は指導員養成研修認定校と連携し、若年層の活動参加のきっかけ作りと、活動の継続化を図ってまいります。

第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）では32競技が決定しており、この中にeスポーツは含まれておりません。追加の実施競技については、今後、大会主催者であるOCAと、大会運営を担う組織委員会や各関係機関との調整のうえで決定されることとなっています。

eスポーツが第20回アジア競技大会の公式プログラムに決定された折には、アジア競技大会・アジアパラ競技大会等の国際大会で活躍できる地元選手の発掘・育成・強化を一体的に実施する「あいちトップアスリートアカデミー事業」へのeスポーツの導入の働きかけに努めてまいります。

eスポーツは、コロナ禍の中で、場所を問わず、プレーできるので魅力的なコンテンツであり、今後、リアルなスポーツとバーチャルのスポーツが一緒になってスポーツの世界がより深まり、広がっていくことが予想されます。こういった状況の中、eスポーツに秘められた可能性は大きいことから、戦略4に記載させていただいたところです。まずは市としては、eスポーツの良さを活かしながら、障害の有無や性別、年齢、国籍等に関わらずスポーツを「する」楽しさを広めるよう努めてまいります。

瑞穂公園の整備につきましては、瑞穂公園マスタープランに基づいて進めてまいります。

## ●戦略5 情報発信戦略（1件）

### 【市民意見の概要】

- ・スポーツ資料展示室はスポーツ振興会館内にあるので、わざわざ来館する人が少ないのではないか。各競技団体が主に使用する施設でイベントに関係する展示ができないのか。

### 【市の考え方】

スポーツ資料展示室では、中日ドラゴンズや名古屋グランパスといった地元に関わりの深いスポーツに関する貴重な資料の展示、マラソンフェスティバル等のイベント開催時に合わせて企画展示をしています。

具体例としまして、令和3年7月から9月の間は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に出場する名古屋市出身の選手のポスターを展示するとともに、選手への応援メッセージを募集する企画を実施しています。

より多くの人に来館いただけるような展示の工夫、充実に努めてまいります。

## ●その他（5件）

### 【市民意見の概要】

- ・競輪場の有効活用を検討してほしい。

### 【市の考え方】

競輪場の特性を踏まえ、本戦略の実現に向けての競輪場の活用方策について研究してまいります。

### 【市民意見の概要】

- ・「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」の結果についての分析が不十分ではないか。

### 【市の考え方】

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を踏まえ、引き続き体育・保健体育の授業等の改善に努めてまいります。

### 【市民意見の概要】

- ・「スポーティブライフ月間11月23日には、瑞穂公園陸上競技場で大イベントを開催します。」の記載が欲しい。

### 【市の考え方】

スポーティブライフ月間の中央行事について追加させていただきました。

### 【市民意見の概要】

- ・「名古屋市教育スポーツ協会主催のスポーツ教室」の活動実績についての記載が欲しい。

### 【市の考え方】

該当部分について、具体的な施策の紹介ではなく本市のスポーツに関する様々な施策について網羅的に紹介させていただいております。

**【市民意見の概要】**

- ・スポーツとは捉えられ難い競技に、将棋や囲碁、チェス等の「頭脳スポーツ」があり、安全が確保出来、TPOにかかわらず実施可能であるので、戦略項目の重点項目として挙げることで「市民のスポーツ実施率の向上」も図れる。

**【市の考え方】**

将棋や囲碁、チェス等について、スポーツとして位置付けるかどうかは、今後の国の動向を注視してまいります。